

学校名

安部 謙 中学校

学 年

3 年 / 組

氏名

中野 巧 視

性 別

男・女

題名
税のちから

僕は、今年の夏のキャンプで、税金のすばらしい一面を実感することができた。

今年のキャンプは、地元の観光への理解を深めようという目的で公社の管理する施設の一つであるコテージを利用させてもらうことになった。

キャンプ当日、コテージの駐車場に到着してみると、そこには、大阪や奈良のナンバーといった県外からの車がたくさん停まっ

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

いた。それを見た松山先生は

「遠いのに来てくれたんやなあ。来てくれたら、地元か活気づいていいなあ。」

と言っていた。そのあと、僕は今年、リゾートホテルにいった人も温泉に入り、この時僕は、松山先生の言った意味が分かった気がした。

こちらに来てもらって、いろいろな施設を利用してもらえるので活気づくんだなあと思

った。地元の人には、働く所が増えたり、来てくれる人は、田舎のゆつたりとしたきれいな景観を楽しんでくれ、くつろいでくれていると思う。

もし、税金がなかったら、田舎の過疎の町は、今のようないくつもの公共の施設もなく、せまくて通りにくい道のままで、地元の人だけが、ひっそりと暮らす所になっていただろう。

税金のおかげで、地元の良さを発見し、ア

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

ピールしていく意識込みかかなえられ、他の地域から多くの人来てもらっている。税金がなければ、地元は活性化するどころの話にはならなくなっていたのではないかと考えた。ら、税金はとても重要なものだと、あらためて思った。

清水には、日本の棚田百選に選ばれている「あらぎ島」という場所がある。キャンプの二日目の早朝、早起きして、みんなて朝霧のかかる「あらぎ島」を散策し、のどかできれ

いな朝の風景を満喫した。そこには、あ
ぎ島の景観をそこにあずにと設計されたト
ンネルが橋が整備されている。以前だとせま
い国道で大変だったところが解消された。

トンネルができた事で、とても通りやすくな
り、快適になつたし、多くの観光客もスム
ーズに通れるようになった。

僕達の生活のあらゆるところで税金が活躍
してくれていることは、今までも学習してき
たが、今年の夏のキャンプでは、税金が、地

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

域の活性化の源をつくる支えとなり、それぞ
れの地域の人々が互いの地域の良さを交流し
合い、豊かな心をつなぐ働きもしてくれてい
ることを感じた。

夏のキャンプは、地元の良さと、税金の働
きのすばらしい一面を発見した二日間だった。